



結いの家だより

NPO 法人 結いの家
 群馬県沼田市坊新田町 1249-2
 Tel 0278-22-2035
 発行責任者 尾崎多美子
 HP 右の QR コードを讀み込んでください
 E-mill twkway0051@outlook.jp



おかげさまで 30 回達成 ありがとうございます

MOTTAINAI プロジェクト事業

MOTTAINAI(もったいない)プロジェクトとは

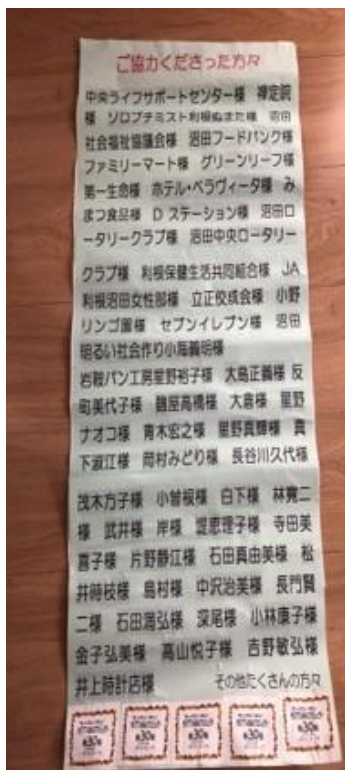
平成29年から始めた子ども食堂がコロナ禍の影響で中止となり、「コロナに負けないプロジェクト」を始めましたが、結いの家はSDGsの社会を目指しています。

「食品ロス」と貧困問題のコラボを考え「MOTTAINAI プロジェクト」という新事業を始めました。

令和2年から始め令和5年1月になると30回を迎えることが出来ました。

30回を祝して記念品(紅白饅頭)を毎月利用して下さる皆様にお渡ししました。

また、今まで提供して下さった方々もお名前をポスターに書き、掲示させて頂きました。



提供者名はホームページには載せていますが、やはり皆様に知って頂き、提供者の協力があって成り立っていることを知って頂きたいと思いました。

利用する側も提供する側も双方の協力によってこの事業は成り立ちます。そして少しでもこの活動が社会のために、地球のためになってくれることを願っています。

皆様、長い間ありがとうございました。これからもよろしくお願いたします。



※SDGsとは

「持続可能な開発目標」。簡単に言うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんで2030年までに解決していこう」という計画・目標の事です。

※「持続可能な」という部分は、「人間の活動が自然環境に悪影響を与えず、その活動を維持できること」を意味しています。

相対的貧困アンケート 調査結果について

目的は

現在社会問題となっている、相対的貧困とはどんなことなのか可視化することです。

実態が把握できれば、今まで「結いの家」が行ってきた事業が有効か否かが判断できます。また実態にあったより良い支援が出来ます。

この2つの目的で調査を行いました。

前調査として

沼田市の社会福祉課へのヒヤリング、沼田地域福祉計画の確認、スタッフ内で相対的貧困について学習をしました。

方法

調査はそれほど簡単なものではありませんでした。

内容が繊細なものなので、批判も受けました。

しかしこれはひとつの社会福祉調査と自覚しています。社会福祉の分野において客観的な事実把握と分析や実践の評価を行うことです。ですから自信を持って実施することを決めました。

まずアンケート内容とアンケート対象を検討。具体的な内容は属性・年間収入・貯蓄金額・勤務形態・経済面における感覚・経済面で困っていること・生活全般で困っていること・利用したい支援・自由記載です。



対象は沼田市内の色々な団体、個人にお願いしました。

結果

199通配布しましたが、回収は96件。

この96件を集計し、スタッフが何日もかけて分析、考察を行いました。

まとめ

調査結果において、今まで「結いの家」が行ってきた事業が市民の皆様理解し、評価していただいたこと。今後もこれらの事業を継続して行う必要があることがわかりました。

また、この調査の目的の具現化を考えました。そして今までの事業の継続するものと、開発するものを検討。その結果、これからは「結いの家」が中心となって地域住民と協働し、その家庭のニーズを把握し、多職種、多機関との連携を図りながら問題に取り組む。必要な支援のコーディネートをする「まちのソーシャルワーカー結いの家」として新しい事業を展開することを決めました。

忙しい毎日のなか、アンケートに協力して下さった方々にこの場で御礼申し上げます。1通1通丁寧に読ませて頂き、スタッフで一生懸命考えました。これが無駄にならないようスタッフ一同頑張っ活動していきます。

本当にありがとうございました。

※「相対的貧困アンケート調査 結果と考察及びまとめ」

の冊子



アンケート冊子の配布

「相対的貧困アンケート調査」のついでの結果と考察及びまとめにつきましては、冊子にしております。

必要な方にはお渡しできます。

「結いの家」(電話 0278-22-2035)までご連絡ください。

編集後記

皆さんにご協力を頂きましたアンケート調査も何とかまとめることが出来ました。作業していく中で、いろいろな悩みや困っていることなど、気軽に声に出せる場所・機会がもっとあればと感じました。そんな場所のひとつとして「結いの家」を利用していただければと思います。編集者 守田修巳